

日 退 教 事務局だより

日本退職教職員協議会

発行責任者 竹田邦明

14-3

2014 年 8 月 6 日

この秋の運動へのとりくみを強め、来年の統一地方選挙さらに国政選挙で政治的変革を

日退教事務局提起

2014 年 8 月 6 日

1 「集団的自衛権行使容認」閣議決定後の動き

情勢と課題

- (1) さる 7 月 1 日に閣議決定した「集団的自衛権行使容認」は、その後に「拡大解釈」され急展開しています。さきに閣議決定した「武器輸出推進（防衛装備移転）三原則」とともに、強襲揚陸艦の導入、F-26 型戦闘機・無人飛行機（ドローン）の購入、アメリカやイギリスとのミサイルの共同開発、自衛隊のオスプレイ導入、佐賀県配備などの動きが報道されています。とくにアメリカと共同製造するミサイルは、カタールに販売するもので中東での戦争に使われることになります。
- (2) 集団的自衛権行使容認の閣議決定が強行されましたが、閣議決定は国会を拘束するものではありません。法制度を変えなければ施行できません。秋にある日米ガイドラインの改定も外交の最終的な権限は議会にあります。今後の国会審議と結んだ私たちの運動の役割は大きいといえます。たたかいはこれからといえます。

当面のとりくみ

- (1) 「戦争をさせない全国署名」 第 2 次集約（9 月 30 日）にむけ各単会は再集約を、未送付署名は日退教に。
- (2) 「戦争をさせない・9 条を壊すな！総がかり行動」（当初 9 月 6 日に設定されていた集会の日程変更）に参加しよう。（日退教は関東ブロック単会に要請）
日時 9 月 4 日 18:00～
会場 日比谷野外音楽堂
- (3) 各単会は各地域での「戦争をさせない 1000 人委員会」（等関連する地域での活動団体、名称・組織形態は地域ごとに異なる。）の活動に参加を
- (4) 日退教「戦争をさせないカンパ」にとりくもう。

2 沖縄普天間基地撤去、新基地建設反対のたたかいの大きな節目 沖縄県知事選挙

情勢と課題

- (1) 米軍普天間飛行場を名護市辺野古沿岸部へ移設しようとする安倍政権の問答無用の姿勢がむ

き出しになっています。

11月の知事選前に海上でのボーリング調査などの既成事実をつくるため、全国の海上保安本部から巡視船をかき集め、キャンプ・シュワブ沖合をはじめ、沖縄近海に展開しています。海上でカヌーなどを使って反対行動をする市民らを排除するためです。海上のブイ（浮標）やフロート（浮具）の設置作業、海底ボーリング調査の着手は8月中旬以降に強行される懸念が強まっています。

陸上ではキャンプ・シュワブのゲート前で資機材を運び込む大型トラックを阻止しようと体を張って座り込む市民と、警察官との衝突が続いています。いつ不測の事態が起きてもおかしくない状況で緊迫しています。高江ヘリパット建設も当初計画どおりすすんでいないとし、強硬な姿勢を示そうとしています。

沖縄県・高退教の会員も連日の行動に参加しています。

- (2) 基地建設のカギを握る沖縄知事選挙は、11月16日投開票で行われます。さる7月26日、県政野党5団体でつくる選考委員会（座長・新里米吉社民党県連委員長）は、現那覇市長の翁長雄志さんの擁立を決めました。一方、自民党本部は、現職の仲井真弘多さんを推薦（自民党県連は推薦決定）する方向です。また、下地幹郎氏（52）も無所属で立候補を表明しました。

当面のとりくみ

- (1) 連日辺野古移設反対・抗議行動にとりくむ沖縄県・高退教に連帯・激励を。

激励電・FAX 送信先

沖縄県退職教職員会 会長 仲村勝彦 様

〒900-0015 那覇市久茂地 3-9-23 教育会館内

FAX 098-863-2026

沖縄県高等学校障害児学校退職教職員会 会長 喜友名 稔 様

〒902-0061 那覇市古島 1-14-16 教育福祉会館内

FAX 098-885-3542

- (2) 日退教第5次沖縄交流団に多くの参加を。

日程 9月28日（日）～29日（月）、

オプション 30日（火）（高江ヘリパット 8:30～16:00 空港着）

- (3) 「沖縄カンパ」にとりくもう。

3 東日本大震災・福島第1原発事故を風化させず脱原発社会の実現を

情勢と課題

- (1) 福島第一原発事故の後始末ともいえる汚染水の処理は「凍土壁」という未開発の技術の導入で、ますます混迷を深めています。汚染物の廃棄・貯蔵も同様にまったく不十分です。中間処理場を福島県内町村に設置するとした国の説明は、住民の「最終処理場になるのではないか」という不安には答えず、石原環境相は「最後は金目でしょう」と記者会見で述べ反発をかいました。

最終処分場について、7月30日突如、環境省は栃木県内の候補地として塩谷町寺島入の国有地を選定し、同町町長に伝えました。町長は即座に拒否を伝えたと報道されています。

- (2) 5月21日に、「事故後の国民の安全対策なくして再稼働を認めない」という画期的な判決が福井地裁であり、裁判長は関電側に関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）運転差し止めを命じました。

しかし、安倍政権は、原発をエネルギー政策のベースロード電源と位置づけ、原発再稼働・海外への原発の輸出をすすめようとしています。また7月16日に原子力規制委員会は鹿児島県川内原発1、2号機が新規規制基準に適合しているとする審査書案をまとめました。

当面のとりくみ

- (1) 脱原発社会実現のため、諸行動に参加しよう。
「川内原発再稼働するな！フクシマを忘れない！さようなら原発☆全国集会&大行進」
日時 9月23日（火・休日）
会場 代々木公園
参加要請 関東ブロック各単会 1・3名（後日要請発文書送付）
- (2) 福島県知事選挙（10月26日投開票）で脱原発をめざす候補の勝利を
各単会からの福島県退教への激励などについては別途要請発文します。
- (3) 「核兵器廃絶1000万署名」にとりくもう。（連合・原水禁・KAKKIN、要請発文は後日）
- (4) 「東日本大震災カンパ」にとりくもう

3 アベノミクス・新成長戦略の危険性とその反労働者性

情勢と課題

- (1) 政府が6月に閣議決定した「新成長戦略」「骨太の方針」では、
 - ・GPFの資産126兆円の運用の見直し（国内株式購入枠の拡大）
 - ・法人実効税率引き下げ（数年で20パーセント台へ）
 - ・女性を「非正規・低賃金労働者へ誘い出す？」ため103万円・130万円の壁見直し（従業員501人以上の大企業で働く“パート主婦”の被扶養者条件を、これまでの年収130万円未満から94万円未満に引き下げ？）
 - ・成果で評価する労働時間制度の創設（残業代ゼロ法）
 - ・医療・介護などを一体的に提供する非営利ホールディングカンパニー型法人制度（仮称）の創設
 - ・保険診療と自由診療を組み合わせた混合診療を拡充するため、新たに「患者申し出療養（仮称）」を創設
 - ・社会保障給付費は自然増も含め聖域なく見直し
 - ・限定正社員（社員を解雇しやすくする？）の導入など多岐にわたって課題が提起されており、私たちの生活が大きく変えられる危険な政策が盛られています。

当面のとりくみ

- (1) 社会保障制度の改悪に対しては退職者連合・地公退とともにとりくみをすすめよう。
- (2) 労働法制の改悪に対しては現退一致でとりくもう。
- (3) 日退教は学習資料を作成し、日退教通信・事務局だよりで発信します。

4 活動の強化から15年の統一地方選挙、さらに国政選挙へ

- (1) 各単会の課題を交流し、連帯・支えあいの日退教活動を充実させます。会員の親睦・交流を深め、生きがいを求めて活動できる場を拡大し、組織の拡大・強化にとりくみます。
- (2) 政治的状況を変えなければなりません。大阪などに見られるように首長の意向、議会の動向で、教育や職場、組合運動が大きく揺らぐ事態が起こります。沖縄・福島県知事選や、2015年に行われる統一地方選挙など各級自治体首長・議員選挙において推薦候補者の当選をめざして現退一致でとりくむことが重要です。このとりくみを通して次期国政選挙での政治的変革につなげます。

当面のとりくみ

(1) 当面する下記集会、学習会への参加体制を確立しよう。

- ① 9・14 地公三単産・地公退高齢者集会（日教組は各単組あて8月6日付けで指示送付）

日 時 9月14日（日）13：30 開会（受付12時から）16：30 終了予定

場 所 日本教育会館3階一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

記念講演 「沖縄の歴史と文化から平和を考える（仮）」

講師 音楽家 海勢頭豊さん他

- ② 9・15 退職者連合全国高齢者集会

日 時 9月15日（月・休日）13：00 開会（受付12時から）16：00 終了予定

場 所 日比谷公会堂

内 容 全体集会、デモ行進

- ③ 2014 年度五者学習会

日 時 10月16日（木） 11：00 開会 15：30 終了予定

場 所 ラポール日教済

内容 講演 1 介護保険制度の改革（仮）

講師 沖藤典子さん

2 集団的自衛権行使容認閣議決定後の政治課題（仮）

講師 山口二郎さん

- ④ 第20回日退教組織活動交流集会

日 時 10月17日（金） 10：00 開会 15：00 終了予定

場 所 ラポール日教済

(2) 組織拡大のため、とくに再任用者対策にとりくもう。

(3) 政治的変革をもとめ、2015年に行われる統一地方選挙を中心に当面する各級自治体首長・議員選挙において推薦候補者の当選をめざしてとりくもう。隣接する単会は応援・支援のとりくみを追及しよう。

日退教事務局は次の期間閉鎖します。

8月11日（月）～8月18日（月）

緊急連絡先

事務局長竹田邦明 携帯 090-3509-8919

日退教 E-mail nittaikyo@gmail.com